



編集雑記

既刊案内 (特集・主要記事)

[3月号]

◎[天草市水道事業特集①]馬場昭治 天草市長 地域振興と水道の維持継続を語る 地元出身 浦上拓也 近畿大学教授を招き ◎[天草市水道事業特集②]天草市 2市8町が合併 2006年(平成18年)広域化スタート ◎[天草市水道事業特集③]天草市の豊かな資源を堪能する給水サービス維持のため、これからが正念場だ…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.76]岐阜大学工学部 社会基盤工学科 環境コース准教授鈴木裕識氏を訪ねて 論文よりマニュアルで社会実装を有機フッ素化合物とマイクロプラスチック汚染に取り組む…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎福井県 九頭竜川水系 鹿茸川全国で初めて「流域治水型災害復旧」を採択…国土交通省 ◎令和5年度の「家庭CO2統計」に向けた調査協力依頼について…環境省 ◎令和4年度 手づくり郷土賞(国土交通大臣表彰)17件を選定！…国土交通省 ◎待って！家選びの基準変わります…国土交通省 ◎日本政府の気候変動の悪影響に伴う損失及び損害(ロス&ダメージ)支援パッケージ…日本政府 ◎建設リサイクル法等に係る全国一斉パトロールの実施結果…国土交通省 ◎[PRESS RELEASE 1]下水道学に基づくCOVID-19感染者数予測モデルを開発～定点把握への移行後における感染動向予測ツールとしての社会的活用を期待～…北海道大学 大阪大学 ◎[PRESS RELEASE 2]北海道大学大学院工学研究院の北島正章准教授らが「COVID-19下水道学調査の実用化」というテーマで日本オープンイノベーション大賞選考委員会特別賞を受賞…北海道大学 塩野義製薬 AdvanSentinel ◎[明日への道標]いたわりの21世紀へー司馬遼太郎 未来への遺言…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎[東京見て歩き(110)]四谷近辺…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎[特別連載]平成を偲ぶパロディ狂歌集(47)―平成一人百首 震災②(全2首)…弁護士 野平大魚 ◎[フォトエッセー NO.9]…IDE研究所 井出浩司◎建築着工統計[2022年12月]…国土交通省◎エッセイ 西村修一、新田純子

[4月号]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.77]木更津工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授 大久保努氏を訪ねて DHS(下降流スポンジ状担体)による排水処理に取り組む 学生を伴い途上国の現場へ…水道ネットワーク通信・有村源介 ◎「流域水循環計画」5計画を公表し、流域マネジメントを推進～4計画を新たに追加～…内閣官房水循環政策本部事務局 ◎公共交通機関におけるバリアフリー化が着実に進捗！～令和3年度 移動等円滑化に関する実績の集計結果概要～…国土交通省 ◎建築物を販売・賃貸する際の省エネ性能の表示ルールをとりまとめ…国土交通省 ◎水道事業における耐震化の状況(令和3年度)…厚生労働省 ◎フンコイン浸水センサ 浸水を検知～実証実験の今年の状況を報告します～…国土交通省 ◎第45回「全日本中学生水の作文コンクール」の実施！…国土交通省 ◎ハイブリッドダムの取組に関するサウンディングでのご意見等も踏まえ、事業化に向けた検討を進めていきます…国土交通省 ◎地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における令和元年度温室効果ガス排出量の集計結果の公表について…環境省 ◎下水汚泥資源の肥料利用の拡大に向けた課題や取組の方向性を公表しました…国土交通省 ◎[PRESS RELEASE 1]大阪大学感染症総合教育研究拠点(CIDER)とWhole Earth Foundation(WEF)、共同研究契約を締結…大阪大学 ◎[PRESS RELEASE 2]COVID-19流行が他のウイルス性呼吸器感染症に与えた影響を週及型下水道学調査により可視化…北海道大学 ◎[明日への道標]革命のエチュードを捧げる―シヨパン郷愁のピアノ…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎[東京見て歩き(111)]東急池上線沿線…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎[特別連載]平成を偲ぶパロディ狂歌集(48)―平成一人百首市議会①(全3首)…弁護士 野平大魚 ◎建築着工統計[2023年1月]…国土交通省 ◎エッセイ 西村修一、新田純子

病床の母がまだテレビを観ていた頃「畑さん、よく頑張ってるね」とうれしそうに話していた。畑さんとはムツゴロウのあだ名で知られる畑正憲さんのことだ。動物とふれあう番組や映画や随想で人気者となり、4月5日に惜しまれて他界した。母が「畑さん、畑さん」と呼んでいたのがわたしもいつのまにか畑さんと呼ぶようになった。

母の話によると父は新婚当時、母校の大分県立日田高校で臨時教師をしていた。そのときの生徒に畑さんがいた。わたしはまだ生まれていない。成績はずば抜けていたものの、優等生タイプではなく、きわめて早熟で破天荒なところのある少年だったという。両親も若かったのもそれほど年の差もなく話しやすかったのかもしれない。放課後になると毎日のように遊びに来るようになった。

そのうち同級生のガールフレンドを紹介される。のちに生涯を添い遂げる純子さんだ。そんな話を聴かされても畑さんと面識のないわたしはまるで無関心だった。大学に入り、たまたま高田馬場の古本屋で『ムツゴロウの青春記』が眼に止まって買ってみた。読んでいくと若き日の両親が好意を込めて描かれている。わたしはひどく驚いた。

動物たちを慈しみ、自然との共生を唱えていた畑さんは知床の原生林伐採や諫早湾の干拓事業に真っ向から反対していた。そういえば農村社会学を専門にしていた父もおなじようなことを言っていた。無謀な開発は自然を破壊し、農業を破壊し、人間の生活を破壊していく。早逝した父もきっと畑さんを誇りに思っていただろう。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第402号

令和5年5月10日発行 定価1,000円(税別)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884